

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		食品開発科学科			
科目名称	公衆衛生学概論							授業形態		講義	
科目コード	276300	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	柚木崎 千鶴子									ICT活 用	
授業概要	本科目の目的は、社会と健康のかかわりを考える能力を養うことです。 個人ではなく集団を対象として、健康の保持増進、傷病の予防を考えるのが公衆衛生学です。公衆衛生的見地から健康問題をとらえる能力を身に付けるよう、わが国の健康の現状、保健行政の動向を統計データに基づいて説明します。調査研究の科学的手段である疫学概念を講義します。私たちを取りまく種々の環境が健康におよぼす影響を解説します。宮崎県内での保健所勤務の経験をもとに環境衛生管理の実際を紹介します。 母子保健および学校保健の一部に関しては、宮崎市内で開業する「どんぐりこども診療所」の糸数智美院長に現状に即した講義をお願いします。										
関連する科目											
授業の進め方 と方法	テキストを用いて講義します。 授業中に発言、発表を求めることがあります。 グループミーティングを実施することがあります。 また、グループミーティングを実施する準備として課題を出すことがあります。										
授業計画 【第1回】	序論：健康問題の変遷、公衆衛生と医療の歴史、保健医療福祉の倫理										
授業計画 【第2回】	保健統計：健康の測定と健康指標、人口統計										
授業計画 【第3回】	疫学：疫学概念と手法										
授業計画 【第4回】	疾病予防と健康管理：疾病リスクと予防医学、健康管理										
授業計画 【第5回】	主な疾病の予防（１）：感染症の疫学と予防対策										
授業計画 【第6回】	主な疾病の予防（２）：主な疾病（循環器系疾病、糖尿病等、がん）の疫学と予防対策										
授業計画 【第7回】	地域保健・保健行政										
授業計画 【第8回】	学校保健、精神保健										
授業計画 【第9回】	高齢者保健										
授業計画 【第10回】	環境保健（１）：環境保全対策、廃棄物対策										

授業計画 【第11回】	環境保健（２）：公害と環境問題
授業計画 【第12回】	産業保健：労働災害・事故、職業病・労働衛生対策
授業計画 【第13回】	外部講師（どんぐりこども診療所 糸数智美院長） 母子保健：母子保健の現状と課題 学校保健：子どもの健康状況
授業計画 【第14回】	国際保健医療：開発途上国の健康問題とその対策、国際機関を通じた協力
授業計画 【第15回】	保健医療の制度：保険制度、医療制度、医療保障
授業の到達目標	1. 公衆衛生の概念と知識を身に付け、わが国の健康問題を説明できるようになる。 2. 保健統計データを読み取って考察できるようになる。 3. 疫学概念と方法を理解している。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)
授業時間外学習【予習】	テキストを見て授業内容を把握しておく。（1時間程度）
授業時間外学習【復習】	授業を振り返りながら課題を解く。授業中に取ったメモを整理しポイントをノートにまとめる。（1時間程度）
課題に対する フィードバック	課題後はグループミーティングを実施し、必要に応じて授業中に解説します。
評価方法・基準	定期試験 90点 レポートまたは課題 10点
テキスト	シンプル衛生公衆衛生学 2026 （上島通浩ほか編集、南江堂）
参考書	国民衛生の動向 2025/2026 （厚生労働統計協会）
備考	